

ている相補・代替医療の種類では機能性食品が大半を占めていた。

民間の研究機関

オッシャーセンターは、アメリカのオッシャー財団の寄付により設立された。オッシャーセンターは世界に三ヶ所在る。アメリカのカリフォルニア大学サンフランシスコ校(医学校)とハーバード大学(医学校)、スウェーデンのカロリンスカ研究所オッシャー統合医療センター(OCIM)である。

何れもの研究所も、相補・代替医療や統合医療を科学的に研究する目的で、アメリカのオッシャー財団から資金援助を受け、運営されている。

ハーバード大学医学部オッシャー研究センターとカリフォルニア大学サンフランシスコ校オッシャー統合医療センターの URL は以下の通りである。スウェーデンのカロリンスカ研究所オッシャー統合医療センター(OCIM)については、本研究の分担研究「スウェーデン(スウェーデン王国)における統合医療の現状調査研究」を参照のこと。

- ハーバード大学医学部オッシャー研究センター(Harvard Medical School Osher Research Center)<http://www.osher.hms.harvard.edu/>
- カリフォルニア大学サンフランシスコ校オッシャー統合医療センター(UCSF Osher Center for Integrative Medicine)<http://www.osher.ucsf.edu/index.html>

アメリカの学術界と相補・代替医療

アメリカ医師会(AMA : The American Medical Association)の機関誌である JAMA (The Journal of the American Medical Association)は、1998年に相補・代替医療の特集(Vol279-280)を組んだ。1998 年度にアメリカ医師会が最も力を入れて取り上げたいトピックの一つが相補・代替医療であった。JAMA の特集で最も関心を引いたのは JAMA Patient Page である。これは JAMA と AMA の公共サービスのためのページであり、医師達が自分の患者にコピーして配つてもらうために作成されてい

るものである。題名は「alternative choices : what it means to use nonconventional medical therapy」で、前述した Eisenberg らの調査結果が簡略に記載され、相補・代替医療の安全性・効果・質・費用などについての注意事項とともに医者に必ず相談するよう勧めている。また、その中では、医師は通常医学である近代西洋医学はもちろん患者が利用しているいかなる相補・代替医療についても熟知しておく必要があると記載している。このページに記載されている相補・代替医療としてはハーブ療法、鍼、アロマセラピー、カイロプラクティク、家庭医学、等が挙げられていた。

現在、アメリカ医師会では、相補・代替医療をきちんと科学的に調査するべきであるという考え方へ移り変わっている。また、各医師は自分の患者がどんな相補・代替医療を使っているかという情報を得、医師自体が相補・代替医療についての教育を受けて、科学的裏付けのある評価をしながら患者治療に当たらなければならなくなっている。

また、相補・代替医療はアメリカの癌学会でも大きく取り上げられ、1999 年 5 月に ASCO(American Society of Clinical Oncology)の第 35 回 Annual Meeting がアトランタで開催された。そのセミナー・シンポジウムに「Alternative and Complementary Therapies and Oncologic Care」と題して ASCO と Amehcan Cancer Society の joint symposium が開かれた。内容は総論的なものが多かったが、近代西洋医学と相補・代替医学が同じ場で議論された意義は大きかった。これ以降、様々なアメリカの学術団体の学術会議や研究会で、相補・代替医療に関するシンポジウムやセッションが開催されるようになった。2003 年には、Society for Integreative Oncology (SIO) が結成され、2004 年 11 月に、Society for Integreative Oncology(SIO)主催で開催された The 2nd International Conference Multidisciplinary Advances in Integrative Oncology では、6つの Plenary session(1. Acupuncture for symptom management, 2. Acupuncture for cancer therapy side effects, 3. Nutritional and botanical approaches, 4. Preclinical studies of botanicals and natural products, 5. Cliniacl trials of integrative

medicine, 6. Research challenges in integrative oncology)が組まれた。

1990 年代までは、相補・代替医療に関する研究者や研究発表、論文は、アメリカの学術会において奇異に見られ、査読付の学術雑誌からは EBM 的に質の高い研究デザインで、内容的にも厳密な解析と革新的な結果と考察がされていても、その論文の研究対象の性質故に掲載を拒否されることも多かった。しかし、現在は、様々なアメリカの学術団体の学術会議や研究会で、多くの相補・代替医療に関する学術研究が発表行われ、多くの査読付の学術雑誌においても、従来の近代西洋医学の論文となんら変わりなく相補・代替医療の論文を扱うようになり、多くの質の高い学術研究論文が学術雑誌に掲載されるようになっている。

相補・代替医療関連の患者支援団体

アメリカには相補・代替医療関連の支援団体はいくつも存在する。例えば、アメリカ癌治療センターでは癌治療と相補・代替医療について、癌患者の立場から、癌患者が相補・代替医療を利用する際の注意や支援を行っている。

- アメリカ癌治療センター : Cancer Treatment Centers of America (CTCA)
<http://www.cancercenter.com/complementary-alternative-medicine.cfm>

公的機関による相補・代替医療に関する情報提供の現状

NCCAM では、実際的な治療を行う施設や、安全性と治療の効能についての情報をいつでも入手できるようにしようと、NCCAM の Web サイトを通じて、一般の消費者に正しい相補・代替医療の情報を提供し、一般消費者の啓発活動を行っている。各相補・代替医療に関する情報に対する一般の消費者の評価や判断をサポートする応用可能な情報を一般の消費者に提供している。

アメリカの公的機関による相補・代替医療に関する情報提供の現状に関しては、本研究の中山の分担研究「相補・代替医療の利用とヘルスリテラ

シーに関する研究」で詳しい検討がなされている。詳細に伝はそちらを参照のこと。

相補・代替医療と産業

アメリカの相補・代替医療市場は 3 兆円市場とも言われるが、アロマセラピー、マッサージ等のポピュラーなリラクゼーションから東洋医学も含めて、治療法は多岐に渡っている。歯列矯正を当たり前の様に行う、外見を気にする国民性からか、アメリカに置ける相補・代替医療は、美容、体重減少の観点から語られる事が多い。経済的な負担の問題から、アメリカでは健康保険に加入していない人口が少なくなく、相補・代替医療がこういった一般的な近代西洋医学の治療が受けられない国民層に、病気の治療法として使われている、という説もある。しかし、実際は相補・代替医療の料金はそれ程安いものではなく、相補・代替医療を経済的な観点から使う事はそれ程効果的ではないようである。例えばカイロプラクティックの相場は 30 分で 40~50 ドルであり、アメリカの平均世帯収入から考えると決して安いとは言えない。

カイロプラクティック、マッサージ、スーパーといった分野は以前から人気があるが、近年は産婦人科のクリニックにマッサージを隣接させたり、スーパー・マッケットの中でマッサージを受ける事ができたりする等、様々な場所へ進出しており、今後、リラクゼーションサービスと相補・代替医療のアクセスが更に容易なものになっていくと予想されている。

また、アメリカのナチュラル・フードで有名な巨大スーパーでは、オーガニックの生鮮食品からビタミン剤、ヨガや瞑想のビデオ、アメリカで有名な相補・代替医療研究者の料理本など、相補・代替医療に関するあらゆる物品と情報が揃っている。価格はやや高めで全体に高級感が漂う。出口付近の情報コーナーには、おびただしい数の相補・代替医療のパンフレットが用意され、相補・代替医療供給者の名刺が自由に取れるようになっている。どれにも料金が明記され、メールアドレス、ホームページなどが書いてある。

ドラッグ・ストアでも、普通のスーパーでも、相補・代替医療が氾濫している。アメリカでビタミンが

相補・代替医療の範疇に入るかどうか微妙であるが、その種類と量には圧倒される。

近年は、スーパーをメインに据えたリゾート観光地に流行の兆しが見られる。New Mexico 州の El Monte Sagrado など、一般的にはアメリカ南部やハワイ等の温暖な気候を持つ土地に、スーパーをメインにしたリゾート地が多い。卓越したサービスと、エキゾチックな体験を提供するリゾート地でのリラクゼーションビジネスに富裕層が引きつけられており、ここで提供されるエステティックやリラクゼーションサービスの内容に相補・代替医療の施術や治療が含まれることが多い。

相補・代替医療分野では、ホメオパシーの人気が高く、精神科のカウンセリングを気軽にに行う様な国民性から、心身医療療法への人気も高い。その他、神秘的である、というイメージが受けがよいため、東洋系の処方も人気があり、中でも鍼灸、漢方、アロマセラピー、指圧、ヨガといった相補・代替医療の人気が高い。

アメリカの健康産業の1つのビジネスモデルとして、健康関連の商品に特化した流通モデルがある。日本でも幾つかの、ハイエンドなイメージを付加価値にしたスーパー・マーケットがあるが、アメリカでは、健康、安全性を表にして高級なイメージと共にブランディングし、「Holistic Shopping」として売り出すマーケット戦略が近年成功を収めている。このような健康食品の流通モデルとして現在注目されているのは、「Whole Foods Market」である。Whole Foods Market はスーパー・マーケットのチェーン店だが、有機栽培の食品を中心とした品揃えを持ち、一環したブランディング、イメージ戦略が受け、現在 4400 億円規模にまで成長している。Whole Foods Market の扱う高品質な商品は他店と比べ値段が高く、安ければ売れる、をモットーにしてきた Wal-Mart に対するアンチテーゼとして注目を浴びており、既存のスーパーの 2 倍以上の利益率を上げている。健康や高品質を謳った商品に特化して成功したビジネスモデルである。

同じように新たな試みを行っているスーパー・マーケットに「Wild Oats」があり、こちらも、健康、高品質(そして高価格)な商品を取り揃えた Whole

Foods に似たスーパー・マーケットだが、Wild Oats の特徴は商品のプレゼンテーションと、店内に備えられたマッサージやスパなどにある。プレゼンテーションに関しては、商品の作られた背景や効能の説明を商品の棚に掲げ、消費者が説明を読んだ後に、いくつもの商品の中から自分の好みにあった物を買えるようにしている。加えて、健康に関するサービスを提供する場所、というイメージ戦略の一環で、店内にリラックスできる場所や、スパやマッサージを受けられる場所を併設している。

D. 考察

米国では、1990 年代初頭から相補・代替医療への関心が高まっている。米国は、対 GDP 比で約 15% の費用を医療全般にかけており、世界でも最も医療にお金をかけている国である。しかし、米国は医療に対する公的保障が非常に少なく、2003 年の米国国勢調査庁による調査では、健康・医療保険に加入していない無保険者が米国民の 7 人に 1 人と報告されている、医療費が極めて高い国でもある。そのため中産階級を中心に、医療費負担が深刻な問題となっており、経済的な理由からも相補・代替医療への関心を引き起こしていると考えられる。

また、アメリカでは巨額の国家予算を投資して、食品などの天然物の臨床試験を開始している。その一環に相補・代替医療も位置すると考えられる。例えば、2009 年 3 月現在、NCCAM 単体では年間約 1 億 2,000 万ドル強、NIH 全体では年間約 3 億ドルの相補・代替医療に対する研究投資が行われており、1992 年度～2008 年度の 17 年間での NCCAM への研究投資は 10 億 8520 万ドルに上っている。更に、2009 年 2 月にオバマ大統領によって調印された、「アメリカの回復と再投資法(回復法)」においても、NCCAM や NIH における相補・代替医療の研究は、アメリカのライフサイエンス研究における向こう 2 年間の研究投資対象となっている。

アメリカ政府はこれほどの資金を相補・代替医療に何故投入するのだろうかといった疑問に対しては、相補・代替医療の研究による知見から、将

来のアメリカ国民の医療費削減に繋がるということを考慮した、先行投資の意味合いがあると考えられる。また、国立癌研究所(NCI)での天然物からの植物性医薬品の開発に積極的な状況やNCCAMの企業との共同研究の奨励や研究助成の状況からも、産業創出分野としての相補・代替医療の意味合いも考えられる。また、アメリカでは、例え夾雜成分が混合していても安全性と有効性が証明されれば植物性医薬品として認めていくこうという薬事政策の転換も同時期に行われていることや、新薬開発におけるリード化合物のインシリコから天然ライブラリーへの世界的な転換状況も併せて考慮すると、長い歴史の中で用いられてきた未解明の薬草や治療法を含む伝統医学や民間療法から成る相補・代替医療は、医療や健康産業創出分野の可能性としての価値が在ると考えられる。

産業的にも米国の成人口の7人に1人が何らかしらの医療産業に従事しており、米国経済に占める医療産業及び健康サービス産業の割合は高く、特に米国政府は、知的財産の観点から、大きな世界市場でもあり、ライフサイエンスの研究と密接に連動する医療や健康サービス産業分野で世界に先んじるために、近代西洋医学による現行医療に比べ学問的に未開である相補・代替医療分野に遅く参入し、バイオテクノロジー等の最新の科学技術を駆使して、相補・代替医療の分野から有益な知見や知的財産を見出していく戦略を開しようとしていることは否めないと考えられる。

E. 結論

アメリカ政府は巨額の国家予算を投じて、NCCAM や NIH の他の研究所やセンターにおいて、人員を動員、育成しながら、個々の相補・代替医療の安全性と有効性、経済性等についての効果の自然科学的及び人文社会科学的検証を行うため基礎研究や臨床研究、社会科学的研究を行っている。アメリカ政府は相補・代替医療の効果を科学的に分析・解明することで、有益な疾病予防や健康増進の手段として相補・代替医療の有用性を疾病の予防対策や医療機関における臨床に反映させ、更に産業界との研究開発により、自国の

医療政策や産業育成に反映させようとしている。つまり、相補・代替医療の研究に対するアメリカ政府の多額の資金投入は、将来のアメリカ国民の医療費削減と健康・医療分野における産業育成に繋がることを念頭に置いた先行投資であり、自国の医療費の抑制と経済の発展を相補・代替医療分野に期待したことと考えられる。

F. 謝辞

なし

G. 文献

- 1) 日本国政府外務省海外ホームページ各国・地域情勢(アメリカ合衆国・基礎データ)
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/index.html>
- 2) The World Health Report 2000 – Health Systems: Improving Performance – THE WORK OF WHO. World Health Organization, 2000.
- 3) Legal Status of Traditional Medicine and Complementary/Alternative Medicine. A Worldwide Review. World Health Organization, 2001.
- 4) WHO traditional medicine strategy 2002–2005. World Health Organization, 2002.
- 5) Guidelines on Developing Consumer Information on Proper Use of Traditional, Complementary and Alternative Medicine. World Health Organization, 2004.
- 6) Bodeker, G., Ong, C.K., Grundy, C., Burford, G., Shein, K.. Produced by the WHO Kobe Centre. Text and Map Volumes. Who Global Atlas: of Traditional, Complementary And Alternative Medicine : Text volume [Illustrated]. World Health Organization, 2005.
- 7) Bodeker, G., Ong, C.K., Grundy, C., Burford, G., Shein, K.. Produced by the WHO Kobe Centre. Text and Map Volumes. Who Global

- Atlas: of Traditional, Complementary And Alternative Medicine : Map volume [Illustrated]. World Health Organization, 2005.
- 8) National Policy on Traditional Medicine and Regulation of Herbal Medicines – Report of a WHO Global Survey. World Health Organization, 2005.
 - 9) 健康サービス市場及び業界動向調査調査報告書. 特定非営利活動法人健康サービス産業振興機構, 2006.
 - 10) National Center for Health Statistics. Health, United States, 2005 with Chartbook on Trends in the Health of Americans. Hyattsville, Maryland: 2005
 - 11) Turnock BJ. Public Health: What It Is and How It Works. Gaithersburg: Aspen; 2001.
 - 12) Natinal Center for Health Workforce Analysis. U.S. Health Workforce Personnel Factbook. Rockville. 2003.
 - 13) The United States Department of Health & Human Services. Budget in Brief Fiscal Year 2006. Washington D.C. 2006.
 - 14) Expanding Horizons of Health Care:Strategic Plan 2005–2009 Executive Summary. National Center for Complementary and Alternative Medicine, National Institutes of Health, U.S Department of Health and Human Services.
<http://nccam.nih.gov/about/plans/2005/strategicplan.pdf>
 - 15) U.S. Department of Health and Human Services. Healthy People 2010. 2nd ed. With Understanding and Improving Health and Objectives for Improving Health. Washington, DC: U.S. Government Printing Office, 2000.
 - 16) President George W. Bush. Healthier US The President's Health and Fitness Initiative. 2002.
 - 17) Getzen T. Health Economics Fundamentals and Flow of Funds 2nd ed. New York: John Wiley& Sons;2004.
 - 18) Phelps EP. Health Economics 3rd ed. Boston: Addison-Wesley; 2003.
 - 19) OECD Health Data 2005.
 - 20) IHRSA, IHRSA Global Report 2005, IHRSA, 2005.
 - 21) IHRSA's Guide to Membership Retention, IHRSA, 2004.
 - 22) LOHAS Journal's Factbook Edition, vol. 5(1), Conscious Media, 2004.
 - 23) Massage Magazine: Issue120, Massage Magazine, 2006.
 - 24) Spa, March./April, Spa magazine, 2006.
 - 25) Healthcare Financing Review, Centers for Medicare & Medicaid Services, vol. 27(1), 2005, p.47–58.
 - 26) 日本ケアワーク研究会:アメリカ社会保障の光と陰一マネジドケアとは何か一,
<http://www.kaigo.gr.jp/lab/usdn.htm>
 - 27) Getzen T. Health Economics Fundamentals and Flow of Funds 2nd ed. New York: John Wiley& Sons; 2004.
 - 28) DeNavas-Walt, Carmen, Bernadette D.Proctor, and Cheryl Hill Lee.U.S. Census Bureau. Current Population Reports. Income, Poverty, and Health Insurance Coverage in the United States: 2004,U.S. Government Printing Office, Washington, DC, 2005.
 - 29) 坂巻弘之 森山美知子:第1回 ディジーズ・マネジメントとは, 連載 ディジーズ・マネジメントとは何か?, 週刊医学界新聞第2571号, 2004年2月9日.
 - 30) Berk ML, Monheit, AC. The Concentration of Health Care Expenditures, Revisited. Health Affairs 2001, vol. 20(2): 9–18.
 - 31) NPO ローハスクラブ.『日本をロハスに変える30の方法』, 講談社, 2006.
 - 32) Tim Hanson, "The Market's 10 Best Stocks," <http://www.fool.com/news/commentary/2006/commentary06060304.htm>
 - 33) アメリカ商務省 National Trade Data Bank

- HP <http://www.stat-usa.gov/tradtest.nsf>
- 34) Centers for Medicare & Medicaid Services HP, <http://www.cms.hhs.gov/>
- 35) 高橋千枝子.『図解健康業界ハンドブック』, 東洋経済新報社, 2004.
- 36) 布施泰男, 他.『医療関連サービス最新市場展望』, 日本医療企画, 2003.
- 37) ポール・ゼイン・ピルツァー.『健康ビジネスで成功を手にする方法』, 英治出版, 2003.
- 38) 松田晋哉:ディジーズ・マネジメントの事例 (3) 第7回 日本での実践:職域での取り組み, 連載 ディジーズ・マネジメントとは何か?, 週刊医学界新聞第 2596 号, 2004 年 8 月 9 日.
- 39) 真野俊樹.『健康マーケティング』, 日本評論社, 2005.
- 40) Club Business International, March 2006, IHRSA, 2006.
- 41) Club Business Europe, Winter 2006, IHRSA, 2006.
- 42) Eileen Figure Sandlin, "Start Your Own Hair Salon and Day Spa", Entrepreneur Press, 2005.
- 43) Healthcare Financing Review, Centers for Medicare & Medicaid Services, vol. 24(1), 2002.
- 44) Healthcare Financing Review, Centers for Medicare & Medicaid Services, vol. 26(4), 2005.
- 45) The Office of Cancer Complementary and Alternative Medicine (OCCAM) <http://www.cancer.gov/cam/>
- 46) 小野直哉, 西村周三. 統合医療の経済—統合医療における相補・代替医療と医療経済. いま, 知っておきたい統合医療, Modern Physician 28-11, 新興医学出版社, 2008.
- 47) 矢澤一良. “欧米における補完代替医療・ヘルスフード関連機関の観察”. 日本補完代替医療学会誌. Vol. 5. No. 1: 65-75. (2008).
- 48) 鈴木信孝. サプリメントの臨床医学への応用. 日薬理誌 (Folia Pharmacol. Jpn.) 131, 252~257 (2008)
- 49) 伊藤壽記, 井倉技. “米国の補完代替医療施設を訪れて”. 日本補完代替医療学会誌. Vol. 3. No. 1: 27-31. (2006).
- 50) 兵頭一之介. “がんの補完代替医療”. 日本補完代替医療学会誌. Vol. 1. No. 1: 7-15. (2004).
- 51) The State Legal Guide to Complementary & Alternative Medicine and Nursing (State Legal Guide to Complementary and Alternative Medicine). Alternative Link, Delmar Pub. 2001.
- 52) The Office of Cancer Complementary and Alternative Medicine (OCCAM) <http://www.cancer.gov/cam/>
- 53) NCCAM CAM Funding by NIH Institute/Center FY 1999-FY 2005 Archive. http://nccam.nih.gov/about/budget/institute_center_archive.htm
- 54) NCCAM Funding: Appropriations History <http://nccam.nih.gov/about/budget/appropriations.htm>
- 55) NCCAM CAM Funding by NIH Institute/Center http://nccam.nih.gov/about/budget/institute_center.htm
- 56) NCCAM CAM Funding by NIH Institute/Center FY 1999-FY 2005 Archive. http://nccam.nih.gov/about/budget/institute_center_archive.htm
- 57) NCCAM <http://nccam.nih.gov/research/extramural/awards/2008/#inst>
- 58) OCCAM <http://www.cancer.gov/CAM/>
- 59) ODS <http://ods.od.nih.gov/index.aspx>
- 60) Harvard Medical School Osher Research Center <http://www.osher.hms.harvard.edu/>
- 61) UCSF Osher Center for Integrative Medicine <http://www.osher.ucsf.edu/index.html>
- 62) NIH <http://www.nih.gov/about/almanac/organization>

tion/NCCAM.htm)

63) NCCAM

<http://nccam.nih.gov/about/plans/2005/>

2.学会発表

なし

J. 知的所有権の取得状況の出願・登録状況

H. 健康危険情報

なし

1.特許取得

なし

2.実用新案登録

なし

I. 研究発表

1.論文発表

なし

3.その他

なし

表1. アメリカの主な経済指標

1.主要産業	工業(全般), 農業(小麦, トウモロコシ, 大豆, 木材他), 金融保険不動産業, サービス業
2.GDP	13兆8,413億ドル(名目 2007年)
3.一人当たりGDP	45,845ドル(名目 2007年)
4.経済成長率	-0.5%(2008年7-9月期)
5.消費者物価指数	1.0%(2008年11月対前年比)
6.失業率	6.7%(2008年11月末)
7.総貿易額(2007年, 季調済み, 商品のみ)	(1)輸出:11,624億ドル(前年比+10.8%) (2)輸入:19,569億ドル(前年比+5.3%)
8.主要貿易品目	(1)輸出:自動車, 同部品, 半導体, コンピューター関連製品, 航空機, 電気機器 (2)輸入:自動車, 同部品, 原油, コンピューター関連製品, 医薬品, 衣料品
9.主要貿易相手国・地域	(1)輸出:カナダ, メキシコ, 中国, 日本, イギリス (2)輸入:中国, カナダ, メキシコ, 日本, ドイツ
10.通貨／為替レート	米ドル/1米ドル=95.4円(2008年10月末)

(出典:日本国政府外務省海外ホームページ各国・地域情勢(アメリカ合衆国・基礎データ)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/index.html>より作成)

表2. NIHの研究所及びセンターにおける相補・代替医療に関する研究予算(2006年度～2009年度) (Complementary and Alternative Medicine Funding by NIH Institute/Center)

Participating ICs	(Dollars in thousands) ¹			
	FY 2006 Actual	FY 2007 Actual	FY 2008 Enacted	FY 2009 P.B.
National Center for Complementary and Alternative Medicine (NCCAM)				
National Cancer Institute (NCI)	123,476	121,933	121,933	121,933
National Eye Institute (NEI)	1,211	941	941	941
National Heart, Lung, and Blood Institute (NHLBI)	3,679	4,595	4,595	4,595
National Institute on Aging (NIA)	6,158	5,763	5,770	5,780
National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism (NIAAA)	975	1,528	1,510	1,495
National Institute of Allergy and Infectious Diseases (NIAID)	1,215	514	514	514
National Institute of Arthritis and Musculoskeletal and Skin Diseases (NIAMS)	1,912	1,947	1,947	1,947
National Institute of Child Health and Human Development (NICHD)	1,820	1,416	1,416	1,500
National Institute of Dental and Craniofacial Research (NIDCR)	344	147	147	147
National Institute of Diabetes and Digestive and Kidney Diseases (NIDDK)	1,588	7,340	7,340	7,340
National Institute on Drug Abuse (NIDA)	1,553	1,173	1,173	1,173
National Institute of Environmental Health Sciences (NIEHS)	5,767	5,735	5,735	5,735
National Institute of Mental Health (NIMH)	7,015	6,559	6,559	6,559
National Institute of Neurological Disorders and Stroke (NINDS)	2,211	1,743	1,748	1,748
National Institute of Nursing Research (NINR)	3,672	3,936	3,936	3,936
Fogarty International Center (FIC)	654	657	657	657
National Center for Research Resources	11,047	9,587	8,650	7,976

(NCRR)				
Office of the Director (OD)	6,013	1,852	1,705	97
Roadmap (RM)	197	196	196	211
National Institutes of Health (NIH) total	300,801	298,931	298,049	295,979

Source: NIH Office of the Director, Office of Budget, Budget Reporting and Legislative Branch.

Note: Columns may not add up to NIH total due to rounding.

¹ Reflects the impact of rescissions and transfer of funds for Roadmap activities.

(出典 : NCCAM 本一ムペ一ジ ; CAM Funding by NIH Institute/Center
<http://nccam.nih.gov/about/budget/institute-center.htm>)

表3. NIHの研究所及びセンターにおける相補・代替医療に関する研究予算(1999年度～2005年度) (Complementary and Alternative Medicine Funding by NIH Institute/Center)

Participating ICs	(Dollars in millions)						
	FY 1999	FY 2000	FY 2001	FY 2002	FY 2003	FY 2004	FY 2005
	Actual	Actual	Actual	Actual	Actual	Actual	Actual
National Cancer Institute (NCI)	36.6	43.0	50.8	85.3	119.9	128.7	125.9
National Heart, Lung, and Blood Institute (NHLBI)	2.8	4.1	6.2	8.9	7.2	4.2	4.5
National Institute of Dental and Craniofacial Research (NIDCR)	0.3	0.6	0.9	0.9	0.8	0.3	0.5
National Institute of Diabetes and Digestive and Kidney Diseases (NIDDK)	1.4	1.6	1.8	2.4	3.2	6.5	2.9
National Institute of Neurological Disorders and Stroke (NINDS)	5.3	4.6	6.6	6.8	4.5	3.3	1.8
National Institute of Allergy and Infectious Diseases (NIAID)	7.5	7.9	8.0	11.5	3.3	4.0	2.9
National Institute of Child Health and Human Development (NICHD)	1.2	1.6	3.1	2.5	1.7	2.0	1.7
National Eye Institute (NEI)	0.7	1.0	1.0	2.1	2.8	1.4	0.9
National Institute of Environmental Health Sciences (NIEHS)	1.4	3.0	3.2	3.6	4.9	5.6	5.5
National Institute on Aging (NIA)	3.1	6.0	5.1	5.2	7.1	6.1	5.8
National Institute of Arthritis and Musculoskeletal and Skin Diseases (NIAMS)	0.2	0.3	0.6	1.6	1.7	5.3	4.0
National Institute of Mental Health (NIMH)	5.1	5.8	6.7	3.9	5.9	6.1	4.4
National Institute on Drug Abuse (NIDA)	0.4	0.3	0.3	0.3	1.2	1.3	1.3
National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism (NIAAA)	0.0	1.1	1.3	1.7	1.5	1.7	1.2
National Institute of Nursing Research (NINR)	1.7	3.3	4.2	4.1	3.1	2.5	3.1
National Center for Research Resources (NCRR)	6.8	7.4	6.1	6.6	7.7	7.8	10.0
National Center for Complementary and	40.5	77.8	89.1	104.3	113.4	116.5	121.3

Alternative Medicine (NCCAM)

National Center on Minority Health and Health Disparities (NCMHD)	--	--	--	0.2	0.2	--	--
Fogarty International Center (FIC)	0.6	0.6	0.6	0.7	0.8	0.8	0.6
Office of the Director (OD)	0.0	0.1	16.7	0.2	5.6	5.0	7.6
Roadmap (RM)	--	--	--	--	--	--	0.5
National Institutes of Health (NIH) total	116.0	170.6	212.9	252.9	296.4	309.1	306.5

Source: NIH Office of the Director, Office of Budget, Budget Reporting and Legislative Branch

Note: Columns may not add up to NIH total due to rounding.

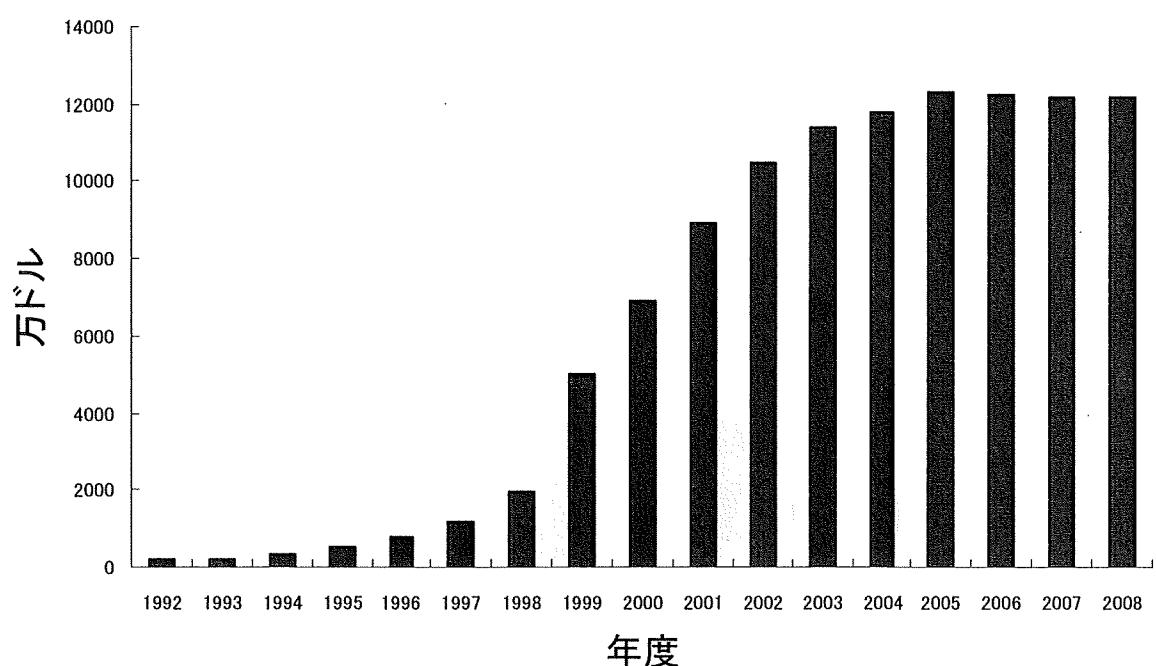
* FY 2006 Estimate and FY 2007 President's Budget: These figures represent the amount remaining after a transfer of funds to the NIH Roadmap initiative in the NIH Office of the Director.

(出典:NCCAM ホームページ;

CAM Funding by NIH Institute/Center FY 1999–FY 2005 Archive.

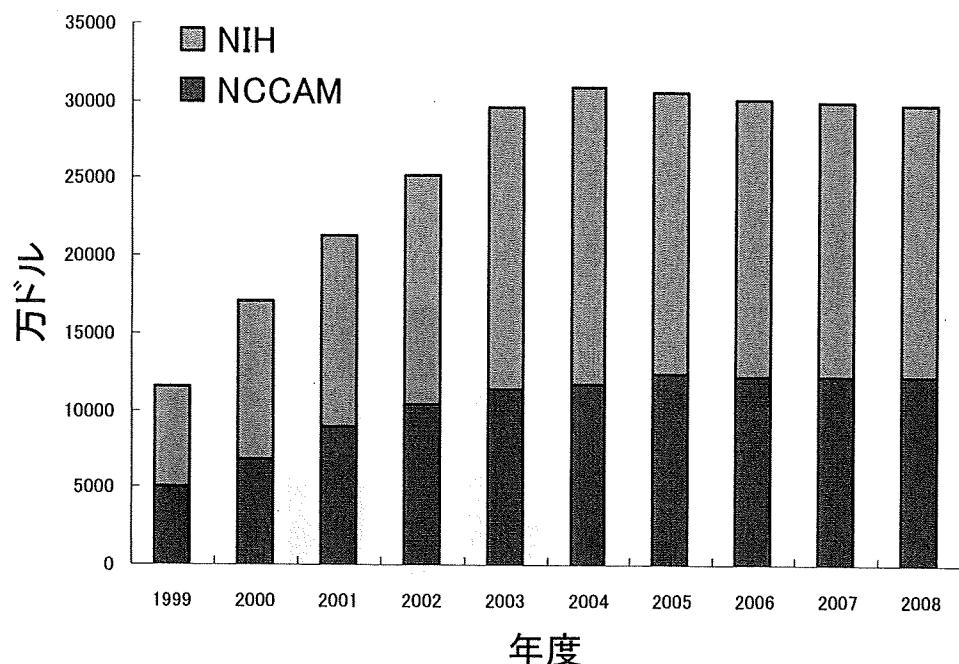
http://nccam.nih.gov/about/budget/institute-center_archive.htm

図1. 相補・代替医療事務局(OAM)及び国立相補・代替医療センター(NCCAM)における予算額の年次推移(1992年度～2008年度までの17年間)



(出典：NCCAMホームページ；NCCAM Funding: Appropriations History
<http://nccam.nih.gov/about/budget/appropriations.htm> のデータより作成)

図2. 国立衛生研究所(NIH)全体の相補・代替医療に関する予算額と国立相補・代替医療センター(NCCAM)における予算額の年次推移(1999年度～2008年度までの10年間)



(出典:NCCAM ホームページ;

NCCAM Funding: Appropriations History

<http://nccam.nih.gov/about/budget/appropriations.htm>

CAM Funding by NIH Institute/Center

<http://nccam.nih.gov/about/budget/institute-center.htm>

CAM Funding by NIH Institute/Center FY 1999-FY 2005 Archive.

http://nccam.nih.gov/about/budget/institute-center_archive.htm より作成)

表4. 新たな競争的研究プロジェクト助成 (New and Competing Research Project Grants)

2008 年度 NCCAM 研究助成 (NCCAM-Funded Research for FY 2008)

Project Title (研究計画の題名)	Institution(研究機関)
Center for Herbal Research on Colorectal Cancer	University of Chicago
Wisconsin Center for the Neuroscience and Psychophysiology of Meditation	University of Wisconsin Madison
CAMs as Counter Measures against Infectious and Inflammatory Disease	Montana State University (Bozeman)
Metabolic and Immunologic Effects of Meditation	University of California San Francisco
CER on CAM Antioxidant Therapies (CERCAT)	Oregon State University
Neuroimaging Acupuncture Effects on Human Brain Activity	Massachusetts General Hospital
Arthritis and Traditional Chinese Medicine	University of Maryland Baltimore
Center for Chinese Herbal Therapy (CHT) for Asthma	Mount Sinai School of Medicine of New York University
Mindfulness-Based Stress Reduction, Stress Arousal and Immune Response in Early HIV	University of California San Francisco
Mechanisms Underlying Millimeter Wave Therapy	Temple University
Alternative Therapies for Alcohol and Drug Abuse	McLean Hospital
Arthritis and Traditional Chinese Medicine	University of Maryland Baltimore
Translational Research Center for CAM Therapy of Asthma	University of North Carolina Chapel Hill
Center for Chinese Herbal Therapy (CHT) for Asthma	Mount Sinai School of Medicine of New York University
UCLA Center for Excellence in Pancreatic Diseases	University of California Los Angeles
Center for CAM Research on Autoimmune and Inflammatory Diseases	University of South Carolina at Columbia
Protective Roles of Grape-Derived Polyphenols in Alzheimer's Disease	Mount Sinai School of Medicine of New York University
Vitamin C in Polymicrobial Sepsis	State University of New York at Buffalo
Therapeutic Value of Fish Oil Prescription on Systemetic Lupus Erythematosus and Bone Loss in Mice	University of Texas Health Science Center San Antonio
Modulation of Nuclear Factor-KappaB Signaling by Immunoprotobiotics	Baylor College of Medicine
Treatment of Systemic Lupus Erythematosus with N-acetylcysteine	Upstate Medical University
Sublingual Immunotherapy for Peanut Allergy	Duke University
Dietary Calcium and Magnesium, Genetics, and Colorectal Adenoma	Vanderbilt University
Brain Plasticity in Carpal Tunnel Syndrome and its Response to Acupuncture	Massachusetts General Hospital
Quercetin and Innate Immune Responses in COPD	University of Michigan at Ann Arbor
Immunomodulatory Effects of Arginine Supplementation in Colitis and Colon Cancer	Vanderbilt University
Forms of Vitamin E Have Opposing Effects on Inflammation	Northwestern University

Role of MAT and SAMe in Colon Cancer Pathogenesis and Treatment	University of Southern California
Connective Tissue Mechanotransduction	University of Vermont and St. Agric College
Role of SAMe in Liver Function and Injury	University of Southern California
Z Joint Changes in Low Back Pain Following Adjusting	National University of Health Sciences
Treatment of Rheumatoid Arthritis-Marine/Botanical Oils	University of Massachusetts Medical School Worcester
Effects of Traditional Acupuncture on Mechanisms of CHD	Cedars-Sinai Medical Center
In Vivo Studies of Ginkgo Biloba Neuroprotection	University of Maryland Baltimore
Dose-Response of Cranberry in Women with Recurrent UTIs	University of British Columbia
Z Joint Changes in Low Back Pain Following Adjusting	National University of Health Sciences
Soy and Estrogen Interactions in the Breast	Wake Forest University Health Sciences
Effects of Traditional Acupuncture on Mechanisms of CHD	Cedars-Sinai Medical Center
Controlled Study of SAMe vs. Escitalopram in Major Depressive Disorder	Massachusetts General Hospital
Controlled Study of SAMe vs. Escitalopram in Major Depressive Disorder	Butler Hospital (Providence, Ri)
Chromium Enhances Insulin and Glut4 Action via Lipid Rafts	Indiana University-Purdue University at Indianapolis
Effect of Massage on Chronic Low Back Pain	Center for Health Studies
Metabolic Consequences of Low and High Carbohydrate Diets	Kaiser Foundation Research Institute
Efficacy of Acupuncture in Treating Urinary Incontinence	University of Pittsburgh at Pittsburgh
Soy Isoflavone Metabolite Equol—Formation and Fate	Children's Hospital Medical Center (Cincinnati)
Novel Therapy for Glucose Intolerance in HIV Disease	State University New York Stony Brook
Prevention of Skin Cancer by Green Tea Polyphenols	University of Alabama at Birmingham
Regulation of Liver LDL Receptor Expression by Berberine	Palo Alto Institute for Research and Education, Inc.
Chamomile as Medicine for Prostate Cancer	Case Western Reserve University
Probiotics in Pediatric Diarrhea in Peru	Tulane University of Louisiana
Novel Herbal Medicine for the Treatment of Prostate Cancer	University of Kentucky
Phytoestrogen and Antioxidant Regulation of Prostate Cancer	University of Missouri-Columbia
Can Omega 3 Fatty Acids Slow Alzheimer Pathogenesis?	University of California Los Angeles
Chemoprevention of Lung Cancer with Anti-tumor B	Washington University
Developing Patient-Centered Measures for Outcomes of CAM Therapies	University of Arizona
The Role of Partial Reinforcement in the Long Term Management of Insomnia	University of Rochester
Soft Tissue Biomechanical Behavior During Acupuncture in Low Back Pain	University of Vermont and St. Agric College
Antitumor and Chemopreventive Activity of the Ecuadorian Plant Extract	University of Miami School of Medicine
Biological Immune Response Modulator	

Feasibility Study of Lactobacillus-GG in HIV-exposed, Breastfeeding Infants in Tanzania. Dartmouth College

Colon Cancer Chemoprevention by Grape Seed Extract University of Colorado Denver

Ethnic Variation in CAM Use and Health Self Management among Rural Older Adults Wake Forest University Health Sciences

Role of a Novel E3-Ubiquitin Ligase in Chemoprevention University of Missouri-Columbia

Randomized Trial of Tapas Acupressure for Weight Loss Maintenance Kaiser Foundation Research Institute

Prevent HIV Protease Inhibitor-Induced Atherosclerosis By Berberine Virginia Commonwealth University

Curcumin Reverses Tumor Exosomes-Mediated Inhibition of Myeloid Differentiation University of Alabama at Birmingham

Mechanisms of Immune Modulation by Abscisic Acid Virginia Polytechnic Institute and St. University

Mechanisms of Immunomodulatory and Anti-Tumor Actions of Polysaccharide Krestin University of Washington

Krestin

An Anti-Inflammatory Role for Bioactive Nutrient Isothiocyanates University of Virginia Charlottesville

Mechanisms of Chondroprotection by Pomegranate Fruit Extract University of South Carolina at Columbia

Effect of Medicinal Plants Used by Tribes on Cancer and Bacteria New Mexico Institution of Mining and Technology

Use of Energy Biofield Therapy for the Treatment of Cancer and GVHD University of Nevada Reno

Mechanisms of Action of Silymarin for Hepatitis C University of Washington

Statin-Berberine Combination Therapy in Hyperlipidemia Palo Alto Institute for Research and Education, Inc.

The Role of Gut-Directed Hypnotherapy in Relapse Prevention for Ulcerative Colitis Northwestern University

Mechanisms of the Relaxation Response in Elderly Hypertensives Allina Health System

The Use of VSL#3 in Irritable Bowel Syndrome in Children Wright State University

Using Affymetrix Microflora Array to Study Microflora Composition in Children With Irritable Bowel Syndrome Wright State University

Effect of Lactobacillus Rhamnosus GG on Colic Symptoms and Breath Hydrogen University of Texas Health Science Center Houston

Chronic Inflammation and Mindfulness Intervention Ohio State University

Cruciferous Indoles in the Amelioration of the Metabolic Syndrome University of Hawaii at Manoa

Mental Practice Impact on Gait and Cortical Organization in SCI University of Cincinnati

Omega-3 Fatty Acid Administration In Dialysis Patients Vanderbilt University

Neuroprotection of Apocynin From Picrorhiza Kurroa In Cerebral Ischemia University of Missouri-Columbia

Dose Ranging study of the Effects of Alpha Acid on Oxidative Stress Johns Hopkins University

CAM Herbal Cocktails for Boosting Antioxidant Activity to Treat Liver Disease	University of North Carolina Chapel Hill
Inhibiting Notch Activity and Brain Tumor Progression Using Zen Sheng Ping (ZSP)	Johns Hopkins University
Efficacy of Yoga for Treatment-Resistant Posttraumatic Stress Disorder	Justice Resource Institute
Mindfulness, Stress, and Inflammatory Bowel Disorder Flare-Up	Rush University Medical Center
Anti-Inflammatory Actions of the Natural Plant Product, Honokiol	University of Iowa
The Effects of Yoga on Brain Gamma-aminobutyric Levels	Boston University Medical Campus
Potential Neuroprotective Mechanism of Korean Ginseng use in Global Ischemia	Johns Hopkins University
Use of Probiotic Conditioned Media to Protect Against Necrotizing Enterocolitis	University of Chicago
Internal Tissues Affected by Spinal Manipulation	University of Alberta
Extending Ultrasound Elastography to Manual Treatment Methods	Canadian Memorial Chiropractic College
Sleep-Directed Hypnosis as a Complement to Cognitive Processing Therapy in Treating Posttraumatic Stress Disorder	University of Missouri-St. Louis
VSL for Asthma	University of Maryland Baltimore
Effects of Acupuncture on Chemotherapy-Induced Pain	University of Maryland Baltimore
Massage Therapy Effects on Cerebrospinal Fluid Neurochemistry	University of Cincinnati
Biomechanical Effects of Manual Therapy in Healthy and Impaired Shoulders	University of Washington
Does Eicosapentaenoic Acid or Docosahexaenoic Acid Prevent Depressive Symptoms in Pregnancy and Postpartum?	University of Michigan at Ann Arbor
Pre- and Post-synaptic Spinal Mechanisms with Local and Distant Manual Therapies	University of Virginia Charlottesville
L-arginine Supplement for the Prevention of Calcineurin Inhibitor Nephrotoxicity	Mayo Clinic Coll of Medicine, Rochester
Anti-Arthritic Effects of Ginger Dietary Supplements	University of Arizona
Neuroendocrine Mechanisms of Developmental Massage Therapy in Preterm Infants	University of Utah
Acupuncture Trialists' Collaboration: Meta-analysis of Chronic Pain Trials	Sloan-Kettering Institute for Cancer Research
Biomechanical and Neurophysiological Effects of Spinal Manipulative Therapy	University of Utah
Allicin Bioavailability of Garlic Products	Plant Bioactives Research Institute
Effects of Cocoa Flavonols on Myocardial Infarction Size and Post-Injury Injury	University of California San Diego
Transcriptional Regulation of Pro-Inflammatory Genes by Curcumin	Pennsylvania State University-Park
Validation of a Novel Sham Cervical Spinal Manipulation Procedure.	Canadian Memorial Chiropractic College
Synergistic Effects of Conjugated Linoleic Acid and Calcium on Bone Mass	University of Massachusetts Amherst

Molecular Mechanisms of Anti- and Pro-arrhythmic Effects of Fish Oil Supplement	Virginia Commonwealth University
Blue-White Light Therapy for Circadian Sleep Disorders in Alzheimer's Disease	University of North Carolina Chapel Hill
Sweet Gum Extract and Late Stage Prostate Cancer	University of Texas Md Anderson Cancer Center
Outcomes of Community Naturopathic Medical Care for Type 2 Diabetes	Center for Health Studies
Pilot Study of Alternative Treatments of Unexplained Chronic Fatigue	University of Utah
Acupuncture to Decrease Disparities in Outcomes of Pain Treatment (ADDOPT)	Yeshiva University
Fish Oil in Pregnancy and Offspring Cardiovascular Disease Risk: 17 Years Follow-up from a Randomized Clinical Trial	University of Aarhus
Urinary Peptide Excretion and Onset of Puberty	University of Alabama at Birmingham
Phase I Study to Evaluate Safety and Toxicity of Epigalcatechin-3-gallate in HIV-1-Infected Subjects	Baylor College of Medicine
Genistein for the Prevention and Treatment of Diabetic Vascular Inflammation	Virginia Polytechnic Institute and St. University
Energy and Appetite Regulation by High and Low Carbohydrate Diets	Oregon Health and Science University
Exploratory Analysis of RR and Mindfulness-based Stress Reduction for Stress Reduction	Massachusetts General Hospital
Efficacy of Turmeric Extract in Prevention of Post-menopausal Osteoporosis	University of Arizona
Treatment Efficacy of Osteopathic Manipulative Treatment for Carpal Tunnel Syndrome	University of North Texas Health Science Center
Effect of S-adenosylmethionine on Blood Homocysteine	Baylor Research Institute
Rhubarb and ACE Inhibitor Study	Wake Forest University Health Sciences
Therapeutic Massage for Generalized Anxiety Disorder	Center for Health Studies
Genistein and cyclicAMP Signaling in Vascular Endothelium	Virginia Polytechnic Institute and St. University
Role of Iron Homeostasis in Cranberry's Bio-effects	University of Massachusetts Dartmouth
Chromium Treatment of Obesity-related Insulin Resistance	State University New York Stony Brook
Antiangiogenic Properties of Sweet Leaf Tea Extract	Louisiana State University Agricultural Center
Omega-3 Fish Oil for Nonalcoholic Steatohepatitis	University of Virginia Charlottesville
Probe Drugs for Botanical-Drug Interactions	University of Kansas Medical Center
Omega 3 Fatty Acids in the Treatment of Children with Autism Spectrum Disorders	University of Med/Dent NJ-R W Johnson Medical School
Mindfulness-based Stress Reduction Intervention to Reduce Stress in AD	Boston University Medical Campus

Caregivers	
Is Chromium Picolinate Renoprotective in Diabetes?	Medical College of Georgia (MCG)
Effects of Probiotics on Neonatal Bacterial Meningitis	Children's Hospital Los Angeles
Lipoic Acid and Insulin Resistance	University of California San Francisco
Dilution and Succession in Homeopathic Remedy Dose–Response Patterns	University of Arizona
Physiologic Characteristics of Traditional Chinese Medicine Based IBS	University of California Los Angeles
Subgroups	
Neuroendocrine and Immune Response to Hypnotic Analgesia: A Pilot Clinical Trial	University of Maryland Baltimore County Campus
Herbal Effects on Oxidant Dynamics in Cardiomyocytes	University of Chicago
Carpal Tunnel Syndrome and Static Magnetic Field Therapy	Helfgott Research Institute
Pilot Studies of the Nutritional Supplement D-pinitol in Alzheimer's Disease	Mount Sinai School of Medicine of New York University
Uridine Supplementation, Mitochondrial Function, and Glucose Metabolism in HIV	University of California San Francisco
Acupuncture and Relaxation Response for GI Symptoms and HIV Medication	Boston University Medical Campus
Adherence	
Prevention of Post–Prandial Hypoglycemia Using n-3/n-6 PUFA in PCOS	University of California Davis
Standardization of Banisteriopsis caapi for Chemical and Biological Markers	University of Mississippi
Pilot Randomized, Double-Blind Crossover Study of Fish Oil [EPA and DHA]	University of California Los Angeles
For Intr	
Exploratory Analysis of RR and Mindfulness-Based Stress Reduction for Stress Reduction	Massachusetts General Hospital
EGCG and Omega-3 Fatty Acids Impact on Fatty Acid Synthase Activity in the Prostate	Oregon Health and Science University
Resveratrol-induced Apoptotic Cell Death in Glioma	Henry Ford Health System
Tai Chi Chih: Complementary Use to Achieve Remission in Geriatric Depression	University of California Los Angeles
Probiotic Lactobacillus–Mediated Suppression of TNF in Pediatric Crohn's Disease	Baylor College of Medicine
Inhibition of Cholesterol Synthesis by Policosanol	University of Kentucky
Tai Chi for Osteopenic Women: A Pilot Randomized Controlled Trial	Harvard University (Medical School)
Patty Acid Supplementation in Management of Type 2 Diabetes	Ohio State University
Cardioprotective Adaptation to Intermittent Hypoxia	University of North Texas Health Science Center
Mechanisms and Effects of Phytoestrogen Treatment in Autoimmune Optic Neuropathy	University of North Texas Health Science Center